

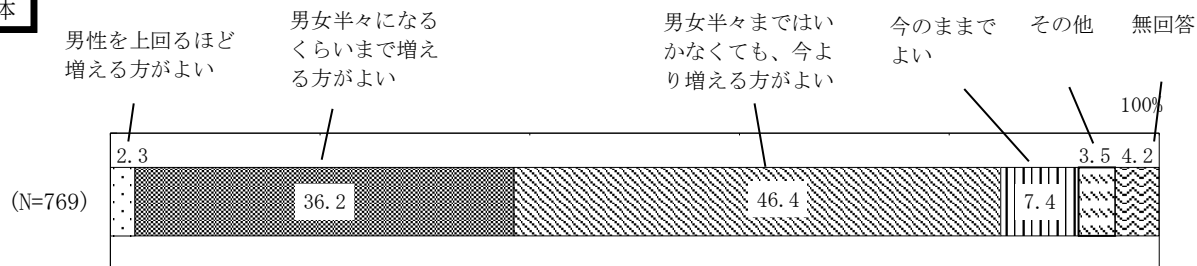
男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

問 3 1

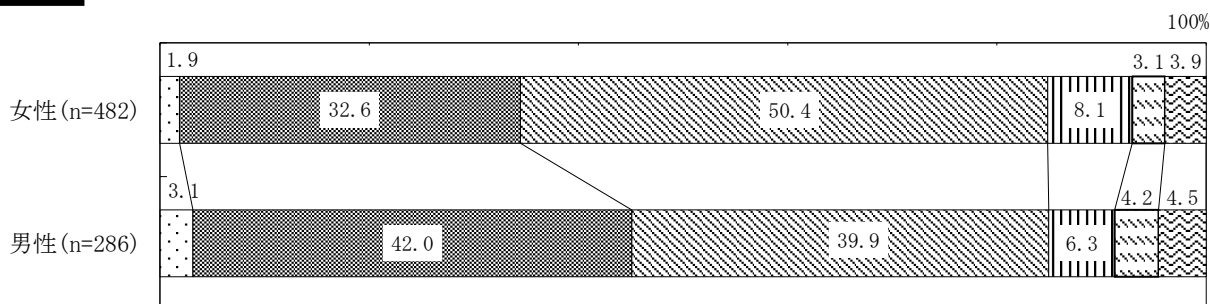
審議会の委員など、政策・方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどのように思いますか（○は1つだけ）。

※柏崎市の審議会等の女性委員の割合は32.5%となっています。（令和元（2019）年6月1日現在）

全体



男女別



政策・方針決定の場への女性の参画についてみると、「男女半々まではいかななくても、今より増える方がよい」（46.4%）が最も高く、次いで「男女半々になるくらいまで増える方がよい」（36.2%）となっている。

性別にみると、男性は「男女半々になるくらいまで増える方がよい」（42.0%）が最も高く、女性を9.4ポイント上回っている。

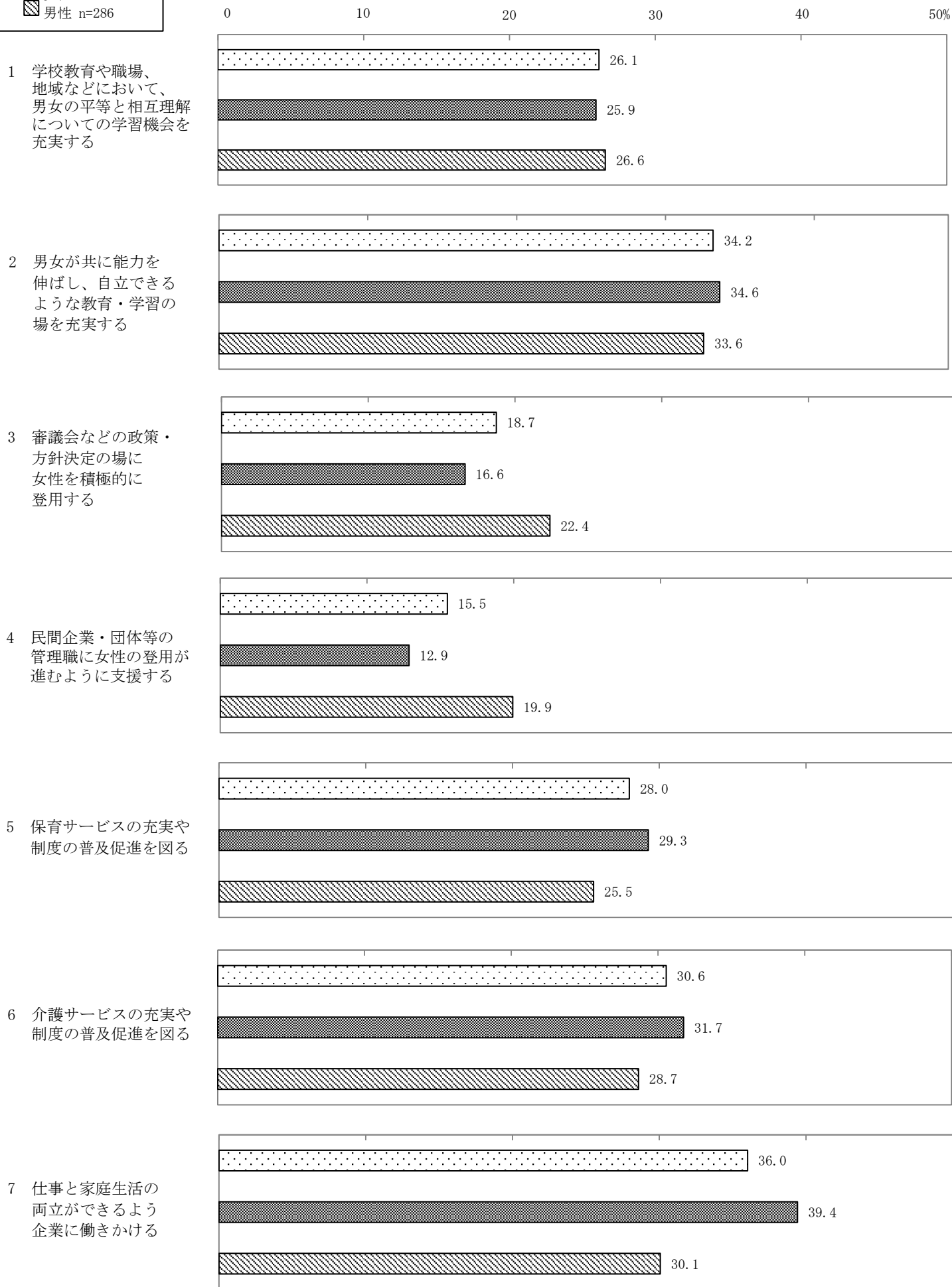
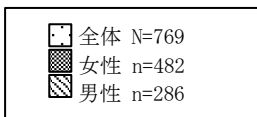
※問3 1 集計表(性・年代別) [構成比(%)／人数(人)]

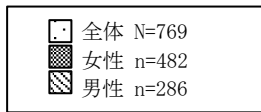
		増える方がよいほど	男性半々になるくらいまで増える方がよい	女性半々まで、今より増える方がよい	今のままでよい	その他	無回答
【全体】	N=769	2.3 (18)	36.2 (278)	46.4 (357)	7.4 (57)	3.5 (27)	4.2 (32)
【女性】	n=482	1.9 (9)	32.6 (157)	50.4 (243)	8.1 (39)	3.1 (15)	3.9 (19)
【男性】	n=286	3.1 (9)	42.0 (120)	39.9 (114)	6.3 (18)	4.2 (12)	4.5 (13)
女性【20～29歳】	n=47	0.0 (0)	36.2 (17)	51.1 (24)	6.4 (3)	4.3 (2)	2.1 (1)
【30～39歳】	n=77	3.9 (3)	29.9 (23)	51.9 (40)	5.2 (4)	6.5 (5)	2.6 (2)
【40～49歳】	n=94	1.1 (1)	33.0 (31)	51.1 (48)	10.6 (10)	4.3 (4)	0.0 (0)
【50～59歳】	n=90	1.1 (1)	32.2 (29)	51.1 (46)	11.1 (10)	1.1 (1)	3.3 (3)
【60～69歳】	n=124	3.2 (4)	37.9 (47)	46.0 (57)	6.5 (8)	2.4 (3)	4.0 (5)
【70歳以上】	n=50	0.0 (0)	20.0 (10)	56.0 (28)	8.0 (4)	0.0 (0)	16.0 (8)
男性【20～29歳】	n=22	9.1 (2)	31.8 (7)	50.0 (11)	4.5 (1)	4.5 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】	n=35	0.0 (0)	37.1 (13)	37.1 (13)	8.6 (3)	11.4 (4)	5.7 (2)
【40～49歳】	n=53	5.7 (3)	45.3 (24)	34.0 (18)	7.5 (4)	5.7 (3)	1.9 (1)
【50～59歳】	n=61	3.3 (2)	42.6 (26)	41.0 (25)	8.2 (5)	1.6 (1)	3.3 (2)
【60～69歳】	n=74	1.4 (1)	45.9 (34)	43.2 (32)	4.1 (3)	2.7 (2)	2.7 (2)
【70歳以上】	n=41	2.4 (1)	39.0 (16)	36.6 (15)	4.9 (2)	2.4 (1)	14.6 (6)

年代別にみると、女性はいずれの年代も「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が最も高くなっている。一方、男性は40代以上で「男女半々になるくらいまで増える方がよい」が最も高く、30代は「男女半々になるくらいまで増える方がよい」と「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が同率となっている。

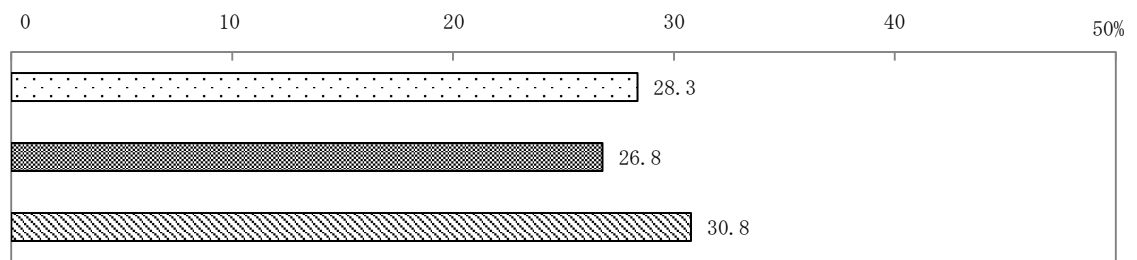
□ 男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

問32  
あなたは、男女共同参画社会を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか  
(○は3つまで)。





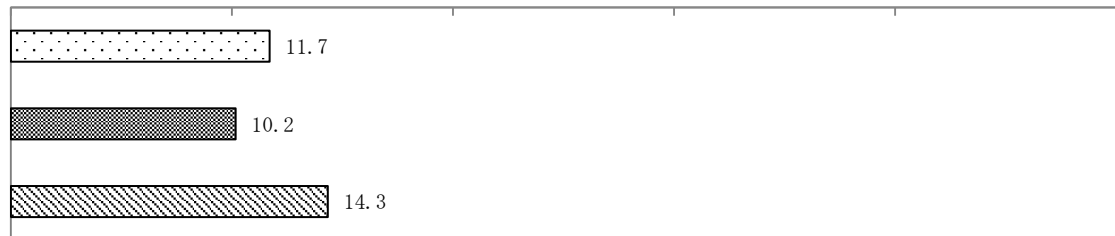
8 子育てや介護のために  
いったん仕事を辞めた  
人の再就職を支援する



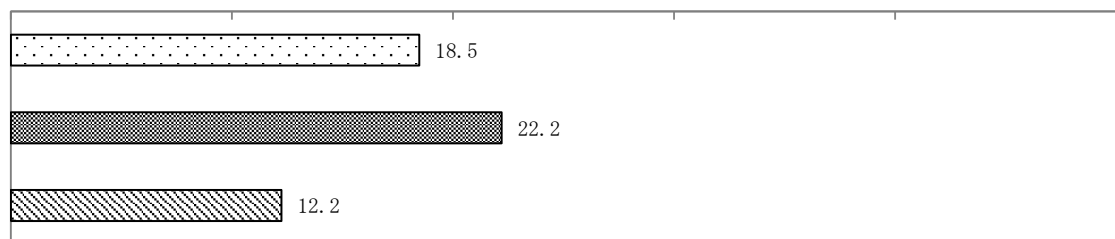
9 配偶者等からの  
暴力被害の防止、  
根絶や相談・支援体制  
を充実する



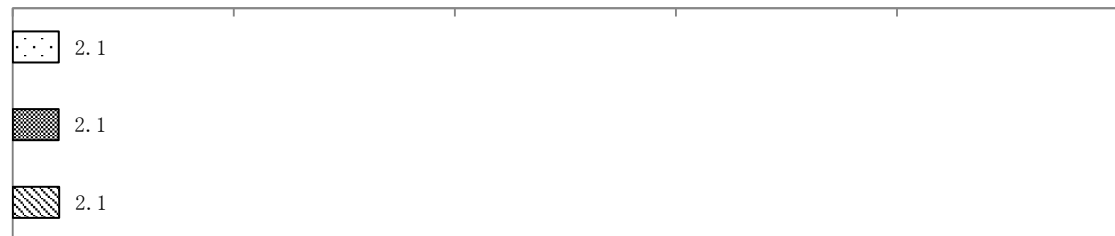
10 地域や団体で  
活躍できる  
女性リーダーを  
養成する



11 男性が家事、  
子育て、介護、  
地域活動に関心を  
高めるよう啓発や  
情報提供を行う



12 その他



男女共同参画社会を実現するために、今後柏崎市が力を入れていくべきことについてみると、全体では「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が36.0%で最も多く、次いで「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」(34.2%)となっている。

性別にみると、女性は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」(39.4%)が最も多く、次いで「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」(34.6%)となっている。一方、男性は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」(33.6%)が最も多く、次いで「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(30.8%)となっている。

※問3 2 項目集計表 (性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の学男女 習教育 機会や 等を職 と等場 と相と 互地 理域 解な につど おい	すき男 る女 ようが な共 教育に ・能力 ・学を 習伸 習のば 場し、 を充立 実で	に審 女議 性会 をな 積の 極政 的に策 登・方 用針 する決 定の 場	の民 登間 用企 が業 進・団 む体 よう等の に支管理 援職に する女 性	促保 進育 をサ 図るー ビスの 充実 や制 度の 普及	促介 進護 をサ 図るー ビスの 充実 や制 度の 普及	う仕 企事 業と に家 働庭 き生 かけ活 るの 両立 がで きる よ	事子 を育 辞め たや 人介 の護 再の 就ため 職に をい 支つ 援た するん 仕	根配 絶偶 や者 相等 談か ・ら 支の 援暴 体制力 を被 充害 実止 する、	地配 域偶 や者 団等 体か でら 活暴 躍力 でき被 る害 女性 リ	報活 提動 供に を行関 う心 を 高 め る よ う 啓 護 、 地 情 域	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【女性】 n=482	25.9 (125)	34.6 (167)	16.6 (80)	12.9 (62)	29.3 (141)	31.7 (153)	39.4 (190)	26.8 (129)	7.5 (36)	10.2 (49)	22.2 (107)	2.1 (10)	4.1 (20)
【男性】 n=286	26.6 (76)	33.6 (96)	22.4 (64)	19.9 (57)	25.5 (73)	28.7 (82)	30.1 (86)	30.8 (88)	3.8 (11)	14.3 (41)	12.2 (35)	2.1 (6)	5.2 (15)
女性【20～29歳】 n=47	21.3 (10)	42.6 (20)	12.8 (6)	10.6 (5)	36.2 (17)	23.4 (11)	55.3 (26)	31.9 (15)	2.1 (1)	4.3 (2)	23.4 (11)	4.3 (2)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	24.7 (19)	23.4 (18)	15.6 (12)	16.9 (13)	53.2 (41)	40.3 (31)	63.6 (49)	26.0 (20)	7.8 (6)	6.5 (5)	22.1 (17)	1.3 (1)	2.6 (2)
【40～49歳】 n=94	30.9 (29)	35.1 (33)	16.0 (15)	8.5 (8)	26.6 (25)	29.8 (28)	41.5 (39)	27.7 (26)	11.7 (11)	7.4 (7)	27.7 (26)	2.1 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=90	20.0 (18)	37.8 (34)	17.8 (16)	14.4 (13)	24.4 (22)	35.6 (32)	24.4 (22)	26.7 (24)	6.7 (6)	13.3 (12)	20.0 (18)	2.2 (2)	5.6 (5)
【60～69歳】 n=124	32.3 (40)	38.7 (48)	13.7 (17)	12.1 (15)	23.4 (29)	29.0 (36)	36.3 (45)	25.8 (32)	5.6 (7)	13.7 (17)	21.0 (26)	0.8 (1)	4.8 (6)
【70歳以上】 n=50	18.0 (9)	28.0 (14)	28.0 (14)	16.0 (8)	14.0 (7)	30.0 (15)	18.0 (9)	24.0 (12)	10.0 (5)	12.0 (6)	18.0 (9)	4.0 (2)	12.0 (6)
男性【20～29歳】 n=22	36.4 (8)	54.5 (12)	4.5 (1)	22.7 (5)	31.8 (7)	13.6 (3)	40.9 (9)	27.3 (6)	9.1 (2)	4.5 (1)	9.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	5.7 (2)	37.1 (13)	5.7 (2)	11.4 (4)	34.3 (12)	31.4 (11)	57.1 (20)	37.1 (13)	2.9 (1)	8.6 (3)	11.4 (4)	2.9 (1)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	13.2 (7)	26.4 (14)	32.1 (17)	22.6 (12)	34.0 (18)	30.2 (16)	35.8 (19)	20.8 (11)	1.9 (1)	11.3 (6)	17.0 (9)	1.9 (1)	1.9 (1)
【50～59歳】 n=61	19.7 (12)	26.2 (16)	27.9 (17)	23.0 (14)	19.7 (12)	31.1 (19)	24.6 (15)	39.3 (24)	4.9 (3)	18.0 (11)	9.8 (6)	6.6 (4)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	45.9 (34)	33.8 (25)	24.3 (18)	20.3 (15)	21.6 (16)	28.4 (21)	20.3 (15)	28.4 (21)	1.4 (1)	17.6 (13)	13.5 (10)	0.0 (0)	4.1 (3)
【70歳以上】 n=41	31.7 (13)	39.0 (16)	22.0 (9)	17.1 (7)	19.5 (8)	29.3 (12)	19.5 (8)	31.7 (13)	7.3 (3)	17.1 (7)	9.8 (4)	0.0 (0)	14.6 (6)

※問3 2 項目集計表 (家族構成別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の学男女 習教育 機会や 等を職 と等場 と相と 互地 理域 解な につど おい	すき男 る女 ようが な共 教育に ・能力 ・学を 習伸 習のば 場し、 を充立 実で	に審 女議 性会 をな 積の 極政 的に策 登・方 用針 する決 定の 場	の民 登間 用企 が業 進・団 む体 よう等の に支管理 援職に する女 性	促保 進育 をサ 図るー ビスの 充実 や制 度の 普及	促介 進護 をサ 図るー ビスの 充実 や制 度の 普及	う仕 企事 業と に家 働庭 き生 かけ活 るの 両立 がで きる よ	事子 を育 辞め たや 人介 の護 再の 就ため 職に をい 支つ 援た するん 仕	根配 絶偶 や者 相等 談か ・ら 支の 援暴 体制力 を被 充害 実止 する、	地配 域偶 や者 団等 体か でら 活暴 躍力 でき被 る害 女性 リ	報活 提動 供に を行関 う心 を 高 め る よ う 啓 護 、 地 情 域	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【一人暮らし】 n=146	26.0 (38)	28.8 (42)	24.0 (35)	16.4 (24)	26.7 (39)	30.8 (45)	28.8 (42)	28.8 (42)	7.5 (11)	16.4 (24)	11.0 (16)	4.1 (6)	6.2 (9)
【夫婦のみ】 n=198	29.8 (59)	37.9 (75)	19.7 (39)	15.2 (30)	23.2 (46)	31.3 (62)	30.8 (61)	29.8 (59)	5.6 (11)	10.6 (21)	17.7 (35)	0.5 (1)	4.0 (8)
【二世帯世帯】 n=320	25.3 (81)	34.4 (110)	17.5 (56)	16.9 (54)	30.6 (98)	30.9 (99)	40.6 (130)	27.2 (87)	6.6 (21)	10.6 (34)	21.9 (70)	1.3 (4)	4.4 (14)
【三世帯世帯】 n=92	21.7 (20)	35.9 (33)	14.1 (13)	9.8 (9)	33.7 (31)	29.3 (27)	43.5 (40)	28.3 (26)	3.3 (3)	12.0 (11)	20.7 (19)	3.3 (3)	2.2 (2)
【その他】 n=11	18.2 (2)	18.2 (2)	0.0 (0)	18.2 (2)	9.1 (1)	18.2 (2)	36.4 (4)	27.3 (3)	9.1 (1)	0.0 (0)	18.2 (2)	18.2 (2)	18.2 (2)

※問3 2 項目集計表 (既婚・未婚別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の男女 学習 機会 を等 と充 実す る	すき男 る女 が共 に能 力 を伸 ばし 、自 立 で	に審 議 会 な ど の 政 策 ・ 方 針 決 定 の 場	の民 間 企 業 ・ 団 体 等 の 管 理 職 に 女 性	促保 進育 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	促介 進護 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	う仕 事と 家 庭 生 活 の 両 立 が で き る よ	事子 育を 辞め た 人 の 再 就 職 を 支 援 す る	根配 絶偶 者等 から の暴 力被 害の 防 止、 支 援 体 制 を 充 実 す る	地 域 や 団 体 で 活 躍 で き る 女 性 リ ー ダ ー を 養 成 す る	報活 提動 供に 関心 を 高 め る よ う 啓 発 や 地 域	その 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【既婚・共働きしている】 n=254	24.8 (63)	34.6 (88)	20.9 (53)	17.3 (44)	30.3 (77)	28.3 (72)	44.1 (112)	22.8 (58)	5.9 (15)	7.9 (20)	19.3 (49)	2.0 (5)	2.4 (6)
【既婚・夫だけが働いている】 n=103	29.1 (30)	36.9 (38)	20.4 (21)	12.6 (13)	32.0 (33)	26.2 (27)	28.2 (29)	35.0 (36)	5.8 (6)	11.7 (12)	19.4 (20)	1.0 (1)	3.9 (4)
【既婚・妻だけが働いている】 n=25	44.0 (11)	36.0 (9)	16.0 (4)	20.0 (5)	20.0 (5)	36.0 (9)	24.0 (6)	40.0 (10)	0.0 (0)	36.0 (9)	12.0 (3)	4.0 (1)	4.0 (1)
【既婚・夫婦とも無職である】 n=88	33.0 (29)	38.6 (34)	18.2 (16)	15.9 (14)	17.0 (15)	34.1 (30)	26.1 (23)	26.1 (23)	5.7 (5)	12.5 (11)	21.6 (19)	0.0 (0)	4.5 (4)
【離別】 n=68	19.1 (13)	30.9 (21)	16.2 (11)	7.4 (5)	29.4 (20)	29.4 (20)	35.3 (24)	32.4 (22)	8.8 (6)	14.7 (10)	14.7 (10)	4.4 (3)	5.9 (4)
【死別】 n=23	26.1 (6)	30.4 (7)	8.7 (2)	8.7 (2)	34.8 (8)	43.5 (10)	30.4 (7)	21.7 (5)	17.4 (4)	13.0 (3)	17.4 (4)	0.0 (0)	13.0 (3)
【未婚】 n=204	24.0 (49)	31.9 (65)	17.6 (36)	17.2 (35)	27.5 (56)	32.4 (66)	36.8 (75)	30.9 (63)	5.4 (11)	12.3 (25)	18.1 (37)	2.5 (5)	5.9 (12)

※問3 2 項目集計表 (末子の子どもの年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の男女 学習 機会 を等 と充 実す る	すき男 る女 が共 に能 力 を伸 ばし 、自 立 で	に審 議 会 な ど の 政 策 ・ 方 針 決 定 の 場	の民 間 企 業 ・ 団 体 等 の 管 理 職 に 女 性	促保 進育 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	促介 進護 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	う仕 事と 家 庭 生 活 の 両 立 が で き る よ	事子 育を 辞め た 人 の 再 就 職 を 支 援 す る	根配 絶偶 者等 から の暴 力被 害の 防 止、 支 援 体 制 を 充 実 す る	地 域 や 団 体 で 活 躍 で き る 女 性 リ ー ダ ー を 養 成 す る	報活 提動 供に 関心 を 高 め る よ う 啓 発 や 地 域	その 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【1歳未満】 n=13	23.1 (3)	46.2 (6)	15.4 (2)	38.5 (5)	76.9 (10)	38.5 (5)	61.5 (8)	38.5 (5)	7.7 (1)	0.0 (0)	7.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【1歳以上3歳未満】 n=35	25.7 (9)	40.0 (14)	14.3 (5)	17.1 (6)	48.6 (17)	28.6 (10)	51.4 (18)	28.6 (10)	8.6 (3)	8.6 (3)	34.3 (12)	0.0 (0)	0.0 (0)
【3歳以上小学校入学前】 n=33	21.2 (7)	27.3 (9)	15.2 (5)	12.1 (4)	42.4 (14)	24.2 (8)	63.6 (21)	21.2 (7)	9.1 (3)	6.1 (2)	27.3 (9)	0.0 (0)	6.1 (2)
【小学生】 n=57	22.8 (13)	31.6 (18)	17.5 (10)	8.8 (5)	26.3 (15)	28.1 (16)	49.1 (28)	24.6 (14)	5.3 (3)	8.8 (5)	21.1 (12)	5.3 (3)	0.0 (0)
【中学生】 n=37	13.5 (5)	18.9 (7)	27.0 (10)	8.1 (3)	21.6 (8)	18.9 (7)	48.6 (18)	18.9 (7)	10.8 (4)	24.3 (9)	27.0 (10)	5.4 (2)	2.7 (1)
【高校・大学・大学院 生】 n=45	22.2 (10)	42.2 (19)	22.2 (10)	20.0 (9)	33.3 (15)	42.2 (19)	31.1 (14)	17.8 (8)	6.7 (3)	11.1 (5)	11.1 (5)	2.2 (1)	2.2 (1)
【学校を終えた未婚の 子ども】 n=84	26.2 (22)	35.7 (30)	26.2 (22)	13.1 (11)	35.7 (30)	38.1 (32)	19.0 (16)	28.6 (24)	3.6 (3)	13.1 (11)	17.9 (15)	1.2 (1)	4.8 (4)
【結婚した子ども】 n=188	30.3 (57)	38.8 (73)	15.4 (29)	15.4 (29)	17.6 (33)	27.7 (52)	28.7 (54)	31.4 (59)	4.3 (8)	12.2 (23)	17.0 (32)	1.1 (2)	6.9 (13)
【いない】 n=233	28.3 (66)	32.2 (75)	16.7 (39)	19.7 (46)	26.6 (62)	29.6 (69)	37.3 (87)	31.3 (73)	7.3 (17)	10.7 (25)	15.5 (36)	2.6 (6)	3.4 (8)

※問3 2 項目集計表（職業別） [構成比(%) / 人数(人)]

	学校教育や職場、地域の平等と相互理解について	男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する	審議会などの政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する	民間企業・団体等の管理職に女性登用が進むように支援する	保育サービスの充実や制度の普及促進を図る	介護サービスの充実や制度の普及促進を図る	仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける	子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・支援体制を充実する	地域や団体で活躍できる女性リーダーを養成する	活動に関心を高めるよう啓発や地域情報提供を行う	男性が家事、子育て、介護、地域	その他	無回答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)	
【自営業主・家族従事者】 n=41	29.3 (12)	31.7 (13)	19.5 (8)	22.0 (9)	17.1 (7)	22.0 (9)	22.0 (9)	31.7 (13)	7.3 (3)	14.6 (6)	12.2 (5)	2.4 (1)	4.9 (2)	
【専門職・技術職】 n=39	28.2 (11)	38.5 (15)	17.9 (7)	17.9 (7)	15.4 (6)	20.5 (8)	46.2 (18)	35.9 (14)	2.6 (1)	10.3 (4)	25.6 (10)	0.0 (0)	2.6 (1)	
【会社などの役員】 n=8	37.5 (3)	50.0 (4)	50.0 (4)	0.0 (0)	25.0 (2)	37.5 (3)	12.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	25.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【正規の社員・職員】 n=255	21.2 (54)	32.9 (84)	20.8 (53)	18.4 (47)	32.9 (84)	30.6 (78)	42.4 (108)	28.6 (73)	5.5 (14)	9.8 (25)	17.3 (44)	2.7 (7)	2.4 (6)	
【パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員】 n=158	28.5 (45)	36.7 (58)	15.8 (25)	12.0 (19)	32.3 (51)	34.8 (55)	42.4 (67)	26.6 (42)	5.7 (9)	11.4 (18)	20.3 (32)	1.9 (3)	0.6 (1)	
【内職・在宅ワーク】 n=5	20.0 (1)	40.0 (2)	0.0 (0)	20.0 (1)	80.0 (4)	60.0 (3)	0.0 (0)	40.0 (2)	0.0 (0)	20.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	

年代別にみると、女性20代～40代、男性30代、男性40代で「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多く、女性50代、女性60代、男性20代、男性70歳以上は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。女性70歳以上は「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」、男性50代は「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、男性60代は「学校教育や職場、地域などにおいて、男女の平等と相互理解についての学習機会を充実する」が最も多くなっている。

家族構成別にみると、一人暮らしは「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」が最も多く、夫婦のみは「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。二世帯世帯と三世帯世帯は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多くなっている。

配偶関係別にみると、既婚（共働き）、離別、未婚は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多く、既婚（夫のみ就労）、既婚（夫婦とも無職）は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。既婚（妻のみ就労）は「学校教育や職場、地域などにおいて、男女の平等と相互理解についての学習機会を充実する」、死別は「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」が最も多くなっている。

末子の子どもの年代別にみると、1歳以上3歳未満、3歳以上小学校入学前、小学生、中学生、子どもがいない人は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多くなっている。高校・大学・大学院生は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」と「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」が同率となっている。1歳未満は「保育サービスの充実や制度の普及促進を図る」、学校を終えた未婚の子どもは「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」、結婚した子どもは「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。

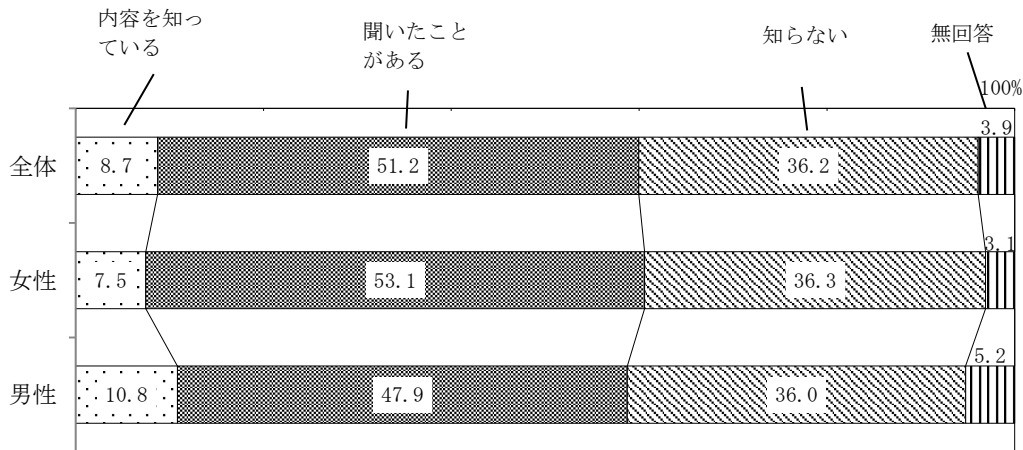
職業別にみると、専門職・技術職、正規の社員・職員、パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多くなっている。自営業主・家族従業者は「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、内職・在宅ワークは「保育サービスの充実や制度の普及促進を図る」が最も多くなっている。会社などの役員は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」と「審議会などの政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する」が同率となっている。

男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

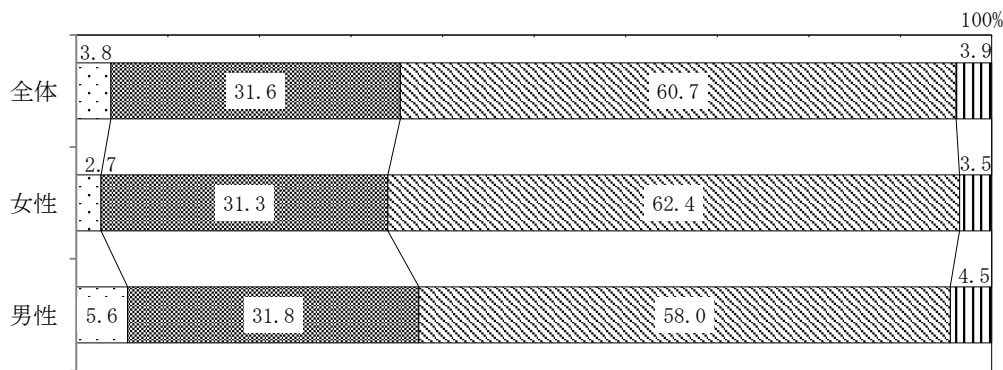
問33

あなたは、次に挙げる法律や用語などについて知っていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。

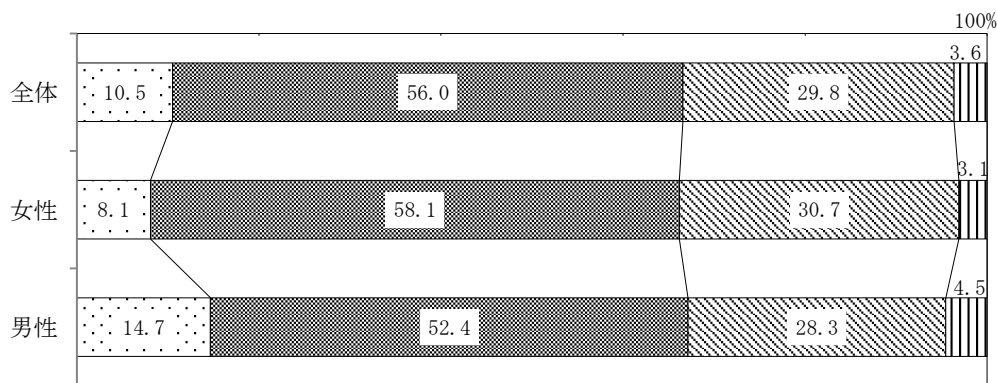
1  
男女共同参画社会基本法



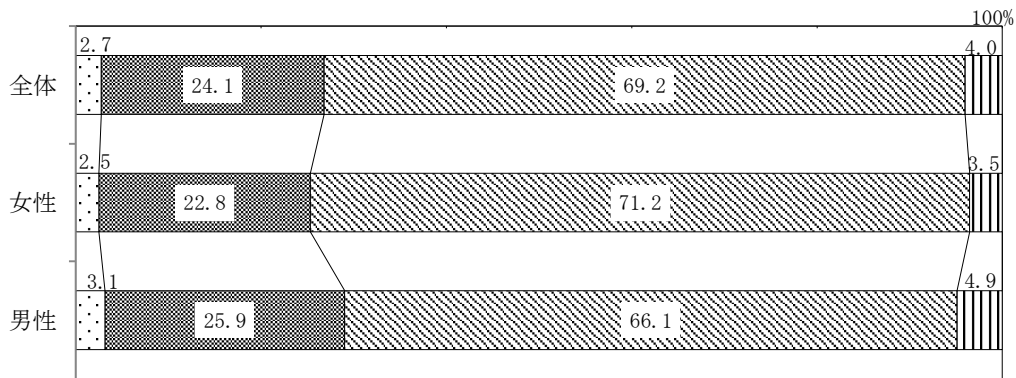
2  
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）



3  
働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（働き方改革関連法）



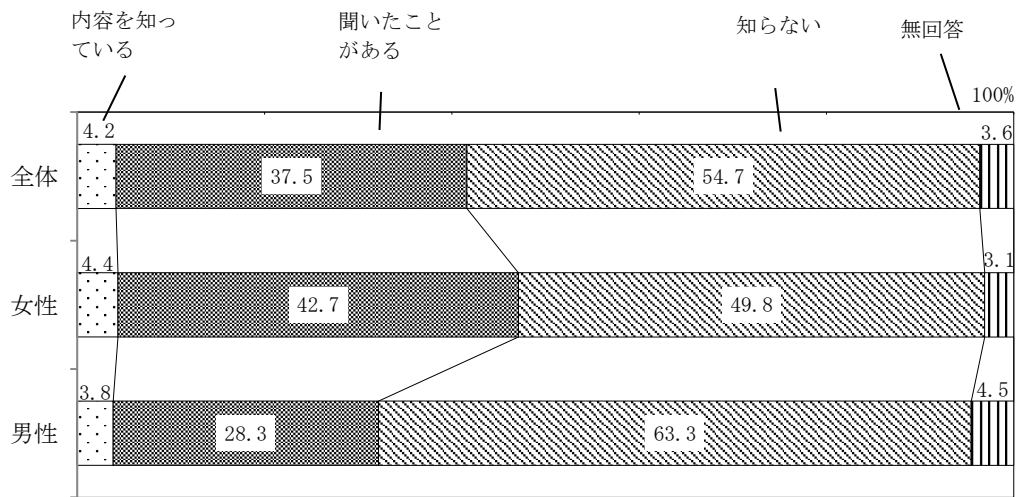
4  
政治分野における男女共同参画の推進に関する法律



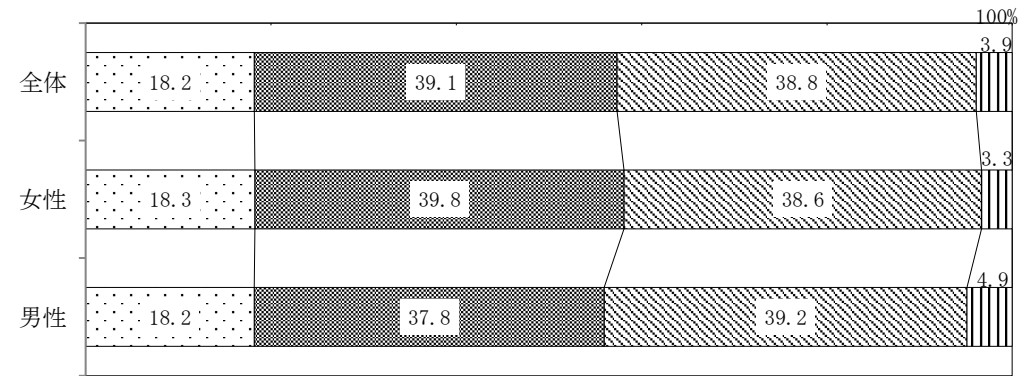
全体 N=769  
女性 n=482  
男性 n=286



5  
柏崎市男女共同参画基本計画  
(かしわざき男女共同参画  
プラン)



6  
ワーク・ライフ・バランス  
(仕事と生活の調和)



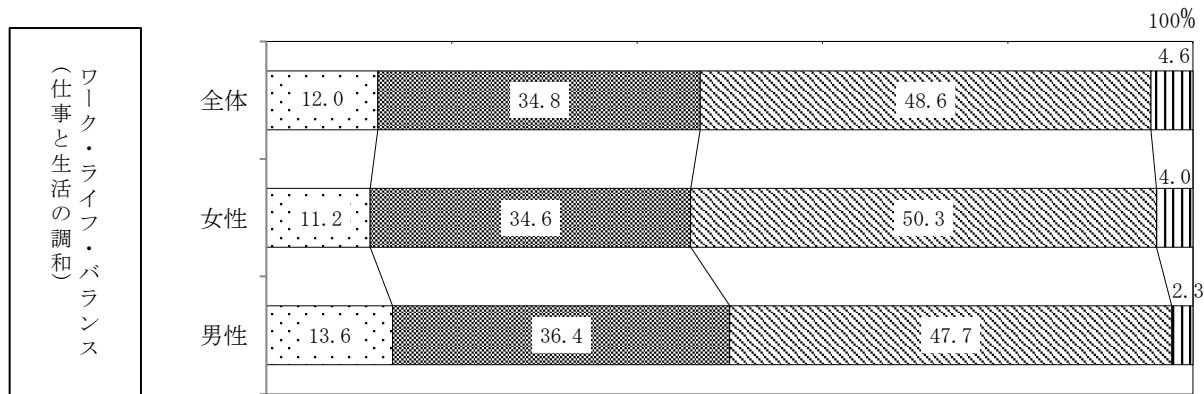
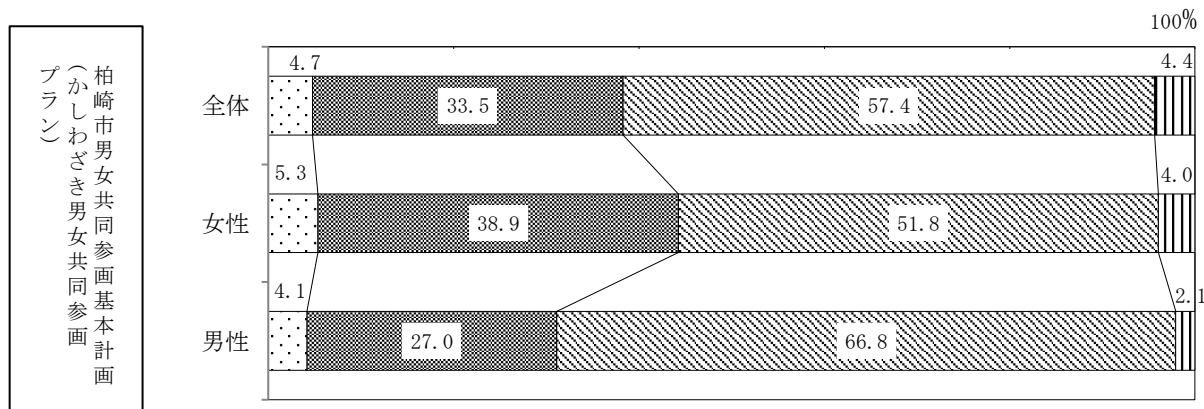
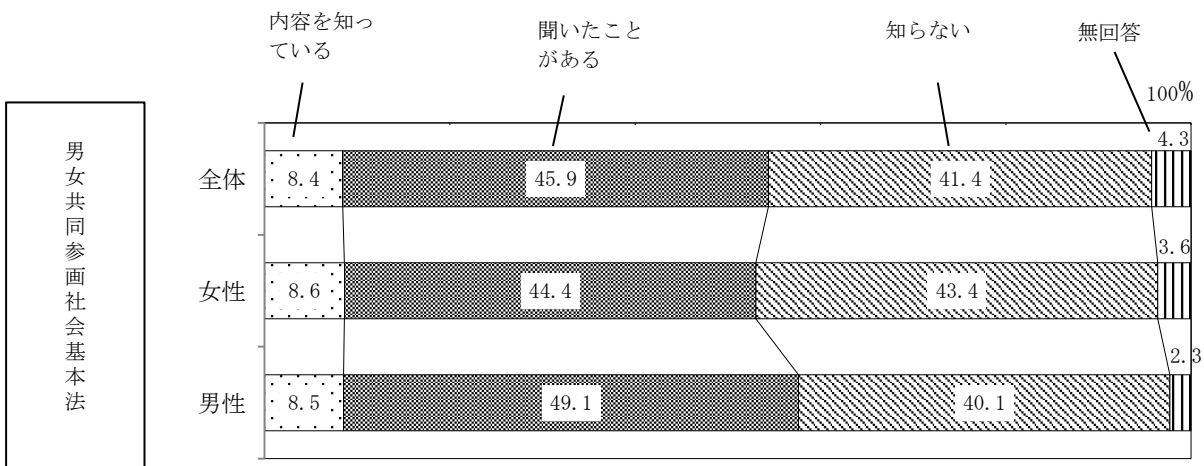
全体 N=769  
女性 n=482  
男性 n=286

法律や用語の認知についてみると、「内容を知っている」人は「ワーク・ライフ・バランス」(18.2%)、「働き方改革関連法」(10.5%)となっており、他の法律は1割に満たない。前回の調査結果と比較すると、「男女共同参画社会基本法」の「内容を知っている」人の割合は全体ではやや増加しているが、女性はやや減少している。「柏崎市男女共同参画基本計画」の「内容を知っている」人の割合は、男女ともにやや減少している。「ワーク・ライフ・バランス」の「内容を知っている」人の割合は、男女ともに増加している。

男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

問33

あなたは、次に挙げる法律や用語などについて知っていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。  
（平成26年度値）



全体 N=1032  
女性 n=581  
男性 n=434

□ 男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

問34

男女共同参画社会を進めていくに当たって、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

**住みよいまちづくりの実現**

- ▶ 若い世代が働きやすく、生活しやすい環境を作る事で柏崎市に移住、実家に戻る事ができると思います。努力を期待します。(女性60代)

**男女共同参画社会の実現**

- ▶ 現状では、まだまだ社会、職場では、時間がかかると思っている。(男性60代)
- ▶ 日本でもクォーター法を用いるべき。〇人以上の参加に資格条件がない集団は、一方の性が1/4以下になってはいけないというもの。〇は20人くらいがいいだろう。(男性50代)
- ▶ 一人の人間として認め合う事が自然になれば、難しい事ではないような気がします。(男性50代)
- ▶ 自分も含め全ての人が考え方をフラットにし、固定概念をなくし、広い心で物事を考えなければならぬと思います。(男性30代)
- ▶ ダメでもやる、案内する。(男性60代)
- ▶ 日本の将来を見据えたら、必ず進めていかなければならぬ。(男性60代)
- ▶ 早期実現を希望します。(女性50代)
- ▶ 日常の中で、あまり意識していない事柄であるが、生活していく上で必要なことであることを認識させていただきました。貴重な体験でした。(男性40代)
- ▶ 女性、男性が本来持っている特性を理解し、認め合える社会の実現に向けて活動をしていただきたいと思います。(女性60代)
- ▶ 男女共同参画社会の「男女」という言葉に抵抗を感じる人もいるのではないかと感じる近ごろです。心と体が違って苦しい人にも優しい参画社会になるといいです。(女性50代)
- ▶ 男女共に人権を尊重し、考え方などをいつでも表現出来るようになれば世の中が変わってくるだろう。(男性70代以上)
- ▶ 女性にいたわりを持つには、どうすればいいのか。共働きなので、女性は家の中の仕事が多々あります。男女共同参画社会を進めるのは、女性に余裕がないとなかなかできません。細かい家の中の仕事を少しずつ、互いに出来るようになる話合いが必要です。(女性60代)
- ▶ 身体的な問題、体力の差などでの男女差、区別はあるにしても、家事、社会での地位は平等であるべき。(男性30代)
- ▶ 男女は脳も体力も違う。人の心が男女対等だと言える社会は、男女の違う部分を認め理解したうえで社会や家庭の中で対等でいられたらと思います。(女性50代)
- ▶ 性別にかかわらず人間として生きていける世の中が良い。(女性70代以上)
- ▶ 地域活動をするにあたり、会長が年配者であることが多く、昔ながらの考え方であるため、女性の負担が多い気がします。(昔は専業主婦が多くそのなごりと思います)。現在、企業でもそういったことを打破するため、女性活躍を進めたり、社会のスピード感に対応するために若年層を登用するなどしています。新しい柏崎を作るには、新しい風を取り入れて検討していくことは、重要と思います。(女性50代)
- ▶ 以前に比べて、男女共同参画社会が進んでいることを実感しています。ただ、残念ながら民間企業の中には、進んでいない所もあるようです。行政によって、地域全体の男女共同参画社会がより進むことを望んでいます。(女性50代)

- ▶ 例えば子育てについてだと、子供が泣いてしまった時に、子供の泣き声を煩わしく感じてしまうのは男の人の方が多いと思う。職場でミーティングなどの機会を持って、男の人は淡々と話を進めていくが、女の方は小田原評定になってしまう場面が多いと思う。頭の構造が違うから仕方ないかも知れないけれど、“性”と、“ジェンダー”を考える良いきっかけになりました。(女性40代)
- ▶ 女性の市長や議会議長などが出て初めて議論が出来ます。もっと、もっと、女性が選挙に出馬出来る整備を。改革はそれから!!男ばかりで議論っておかしいでしょう?!最低でも市議会議員の半分以上が女性である。(男性60代)
- ▶ 柏崎市議会議員は、他の市町村と比べると、多く喜ばしい事です。(女性50代)

## 男女平等の考え方

- ▶ 男女で分けるのではなく、能力の有無で判断すべきものだと思う。男女でなく、行政が、各団体(町内会含め)の役員等に女性・男性(能力のある人)が役職に就けるよう促す。賃金差をなくす(女だからこれくらいで…というのをなくす。)(女性60代)
- ▶ 全ての物を男女平等にするという事にはそもそも無理があり、それぞれ適材適所があると思う。男に向いている仕事や役割、女性に向いている活動等、行政の方でその見極め、方向づけをしてもらえれば、もっと住みやすい社会になるのではないのでしょうか。(男性50代)
- ▶ 出産・子育てがある以上男女共同参画の対等は難しい。(男性70代以上)
- ▶ かかあ天下の方が世の中がうまくいくと思います。(男性60代)
- ▶ 男女は平等であり、対等である。男女の差別はないと子どもの頃から、学校で教えられている今の若者(20才位)は、考え方に抵抗はないかもしれませんが…が、30才以上は、考え方にひらきがあると思います。どうしても結婚すると、男・女の差は、あきらかに違いとなって夫婦間や社会(仕事上)からの保守的なことになっている気がします。結婚して子供ができれば、子どもを中心に育児も家事も二人で小学・中学と、PTAや地域とつながりながら参加することもあるでしょうが、独身の方が多い社会というのは、個人のつながりは限られてしまう。…やっばり、皆が結婚して子どもを産んでもらわなければ地域経済は回らないと思います。「結婚」を中心とした考え方も必要かと思います。(女性50代)
- ▶ 「女性」を特別扱いすることは、差別だと思う。あくまでも平等であり、能力などで評価されるべき。ただし、出産などで女性の負担が大きい事については、特別に配慮されるべき。女性が活躍できるようになることは良いと思うが、結果として未婚者増加、少子化が加速していく。結婚や出産、育児に対してもっと国を上げて優遇すべき。(男性40代)
- ▶ 学歴が高い女性にとっては十分に男女平等になっていると思う。私の妻や友人の妻等もそうだが、学歴の高い女性は「男女平等だから」という立前をふりかざし、家事・育児をやらないことが多くなっていると感じる。徐々に男性差別も起きてきている。(男性30代)
- ▶ 私は、男女という考え方をしてる限り、その差別的な考えはなくならないと思います。男は男、女は女ができることが違うと思います。何でも男女平等みたいな考えの方が無理があると思う。互いに相手の事を考えれば、男も女もない私は思っています。(男性60代)
- ▶ 「女性も社会に出るべき」というようにうたっている人もいるが、家庭でも外でも女性も男性もその人自身の役割があると思う。男女平等のために「〇〇%は女性にしなくては」とされると女性の能力が評価されにくくなるのでは。男性も女性も本人の意志が尊重され、人と違う意見も認められるようになれば良いと思う。(女性20代)
- ▶ まずは、男が女の弱さにあわせてものごとを考え、次に、女は、ありがたく行動できるように考える。(女性40代)
- ▶ 一番大切な事は男は女ではない、女は男ではないというところから始める事ですね。自分の役割を理解しなければ、端で何を言ってもやってもだめだと思います。(男性50代)
- ▶ 男性しか出来ないこと、女性しかできないこと互いに話し合い進めていくべきだと思う。女性だけでもうまくいかないバランスが大切。(女性60代)
- ▶ 女性が活躍しやすい職業もあるし、全ての職種を同一に考える事はどうかと思う。(男性50代)

- ▶ 女性には母性(の資質)があり、子どもに愛情を注ぐ力は、男たちは遠く及ばないものと思います。このため、女性を軸にした子育てが理にかなっており、男はそれをサポートし、しっかりと働いて経済的な基盤を守るのが、務めだと思います。女性の社会進出は大いに結構なことです。まずは各人の家庭を夫婦で協力して、営み、子供に手をかけ、愛情を注ぎ、育てあげることが一番大切なことだと思います。(男性40代)
- ▶ 男女関係なく意欲ある人が活躍出来る環境整備を進めていただきたいと思います。女性の数が少ない事は理解出来るが、女性を活躍というより、男女どちらでもいいのではないかな、と感じます(男性50代)
- ▶ 女性が社会で活躍することは賛成ですが、少子化の現状を見るに付け、まず若い女性が早く結婚して、子供を生み育てることの方が一番大切で、女性にとっても幸せなことと思われる(これを学校教育で若い女性に教えてほしい。)。その後、社会に出ても遅くないと思います。それまでの経済的支えがあって欲しいと思います。そして子育てが終ってからでも充分働ける環境があるのが理想です。(女性60代)
- ▶ 年をとった男の人の中には女性を見下している人もいて、そういう人は女性のリーダーの下では働きたくないと思っている人もまだまだいます。かと言って、人数だけ女性を増やせばいいとも思っていません。女性でも、能力のある人がその分野で活躍できる時代、子育て中でも預ってくれるところがあり、そのことに理解を示す親と夫であることが条件です。働きたい人が働ける時代がいいと思います。(女性50代)
- ▶ ご年配の方はまだまだ男性が女性よりも何事でも“上”という考えが表面にはなくても心の中では思っているようです。新潟県の離婚率の低さが全国一(?)だったと思いますが、決して喜事ではありません。女性が“がまんしている”という事なのですから。とにかく男性、女性両方の考え方を変えていく事から始めなければいけないと思います。(女性50代)
- ▶ 年をとればとるほど、固定観念を変えることは難しい。古い習慣を変えたい時に、憚るのが年配者。年配者は地位もあり、説得できづらい。その労力を考えると、諦めが生まれ、前に進めない。上に立つ人間に若者も必要。男女平等にするには、年齢を問わない、実力社会が必要だと思います。(女性30代)

### 性別役割分担意識の解消

- ▶ 男だから、女だからではなく、“個人の考え”を尊重してほしい。他人の考えをおしつけてはいけないと思う。(男性30代)
- ▶ 男性自身→家事・育児を自分がすることは当たり前と思う。女性自身→自立し、仕事を持つことは当たり前と思う。無理なく、自然体でそう思えるように、導いて行かれる取組を期待します(特に男性に向けて「1日家事デー」など)。(女性60代)
- ▶ 家は守れる人がやる事です。男、女は関係ないです。ただ国が男女の差別をしています。うちは私が家の事は全部しています。でも世帯の主にはなりません。おかしいですね。(女性60代)

### 風潮の見直しが必要

- ▶ 男女共に働くなら、男の家事進出or家政婦をやっても「女性として手抜きしている」と思われたい風潮が大事だと思います。制度より、日本に根づいた「男(女)がやってあたり前」「周りと同じにすべき」を変えていかないとまくいかならないと思います。(女性30代)
- ▶ 女性の社会進出が少しずつ進んでいますが、政治の社会天皇継承順位等は、まだまだ男性優位が現実……。日本の国、社会全体が変わらないと男女共同参画社会は進んでいかないのではないかと思います。(女性60代)
- ▶ 女性を役職に登用したり、仕事のリーダーにすることで男女共同参画の外見の形を整えたように見せているところがまだまだ多いと感じる。女性に登用した例をマスコミ等で、取り上げて話題にするなどのことはまだ意識が低いのではないかと。同じ能力を持った人間がいた場合、時代の流れから女性を選ぶという風潮を感じる。逆な性差別では?(女性60代)

### 風習の見直しが必要

- ▶ 東京で育って(生まれて)、柏崎に嫁ぎました。東京では結婚式、法事などの行事は全て夫婦揃って出席するのに、こちらでは男性だけが出席する事にびっくりしました。全てにおいて東京より男性が中心の地域性を感じます。町内会の役員になった時、思ったことをズバズバ言いましたら、面白かったのか大変かわいがっていただきまして、この地でも女性をもっと思っていることを言っても大丈夫なんだと実感しました。(女性60代)

## 意識改革が必要

- ▶ まだまだ古い考えで亭主関白な人が多いのでは。それでいて自分1人では何も出来ない男の人。(女性70代以上)
- ▶ 年配の男性の方において、「女だから」とか「昔は…」とか古いお考えをお持ちの方が多いように思えます(国会議員などの議員の方々の多く)。そういうお考えが変わらない限り無理だと思います。(女性50代)
- ▶ 子連れで、参加できる様な環境づくり。子供が少ないので、少しでも騒いだりすると目立つため気にしないといけない雰囲気がある。もっと、子供が子供らしくいられる、大人の寛容な態度があると、女性も参加しやすくなると思う。(女性30代)

## ドメスティック・バイオレンス、ハラスメントの根絶

- ▶ 暴力さえないが夫の理屈、へ理屈の精神的暴力に毎日、おびえながら生きている。死にたいが小さな子供が3人いるのでまだ死ねない。子供たちを育てあげたら、死にたいと思っています。配偶者からのモラハラは根絶すべき!(女性40代)
- ▶ DVを経験しましたが、相談や話をした人の何人かは他人事であり、その相手を選んだ私が悪いと言う方もいました。もっと理解が進むといいなと思います。福祉課の方には相談にのっていただき感謝しています。男、女関係なくお互いの役割もあると思います。人間として幸せに生きること成長するのが大切だと思います。DV家庭の子どもは心に傷が残ると思うので救ってほしいです。(女性40代)
- ▶ 女性=「事務職」という考えが、男性陣の固定概念としてあります。理系の技術職としては、事務作業を女性にばかりさせるのはやめてほしいです。また、セクハラがない企業なんてあるのでしょうか?1番理解できないのは、セクハラされている女性社員の様子を見ていながら、その場でほったらかしにする男性陣です。パワハラも同じく。(女性20代)

## 教育の充実が必要

- ▶ 男女共同参画社会はとても良い事だと思います。何と言っても男女にかかわらず、同一賃金は必要です。そして、これからの子供達には教育が最重要。貧富の差なく教育の平等化を是非押し進めて行ってほしい。切に願います。老人には多額の年金はいらない。子供に回して下さい。(女性70代)
- ▶ 男女どちらも平等にチャンスがあり活躍できる社会というのを教育の場でもしっかりやってほしいと思う。自分の子供が行っている園では、行事など目立つ役割(メイン)を毎年男児が務めるのがあたり前になっているのに違和感を感じる。うちは女の子もいるので、そういう状況が残念だし、まずは大人(特に年長者の方)が変わるべきなのではないかと思います。男性だから、女性だからという差別がなくなり、一個人として評価されて生活できるようになってほしいと思います。(女性30代)
- ▶ 子供達や若い世代は男女平等、共同参画の意識が高いと感じる。それは学校教育の移り変わりだと思う。年配の方ほど男性優位な考え方が強いと思う。時間がかかるかもだが、教育や広報などに力を入れ少しずつ拡大して行く事が大切だと思う。(男性40代)
- ▶ 私が働いていた若い時代は、仕事が第一優先の責任社会だったように思います。今は進歩して、守られる制度が充実していて良いと思いますが、「責任を持つことの大切さ」や、「権利だけでなく、義務を果す重要性」などの教育が徹底されるべきだと思います。本当の地域の助け合いや、豊かな気持、優しさが持てる社会となり、安心して皆が声をかけあえる町であってほしいものです。(女性70代以上)
- ▶ 関心を高めるよう啓発や情報提供を地域別に行う。子供の頃からの教育が大切だと思うので、学校での取り組みについて検討。子供が自然に考えられ、自ら行動できるようにしないと、大人になってからでは難しい面があると思います。(女性60代)
- ▶ もっと低辺から共同参画社会が根付くよう小学生から指導、教育してほしい。良い事と分かっているけど、人前で話す事が苦手の人が多くいます。そんな人たちが、気軽に参加できる講座が多くあると良いと思う。(女性60代)
- ▶ 男女共同参画社会においても男女平等には成り得ないと思う。お互いに理解を重ね納得する(させる)方向が一番の良い方法ではないだろうか?大人になってからでは遅い。幼保からの教育が一番理解し合えるチャンスだと私は思う!!(男性60代)

- ▶ 柏崎は子供が少なく老人ホームばかりが増えています。介護や家事を女性にばかり押しつけてやらせる時代は終わりました。これからは男性も進んで介護をしたり家事ができる制度が必要です。あと公務員で長を務める市長や教育長なども女性がやってみてほしいです。それには幼稚園や学校生活の中で、子供たちに男性の方が上(偉い)という雰囲気を与えない(持たせない)事が大事だと思います。(女性40代)
- ▶ まず感じるは、男女共同参画は、今さら、ことさら、問題視することは、この世知辛く無感心すぎる若者たち、忙しすぎる若夫婦たち、そして引き込みりの人たち、人としていかほど真剣に考えて取り組んでいけるでしょうか。私の時代、物心がつく頃からずっとずっと人との触れ合いを通して善悪のみならず、人間道を仕込み学んでいました。今世は大進化をなおも続け、パソコン、スマホ等、指一本で悪態ついて、人を蔑む人々、何もかも法の規制で済ませてしまう。道徳心の欠落でしょうか。人と人との触れ合いを断つ老いも若きも車社会のどこでもドアからドア、そして序々に不便を強いられる老人たち。安心、安全を口約、軽々しく述べる議員たち。考えましょう。この市や町は生活に不可欠なシステムが欠け過ぎているのではないのでしょうか。(女性70代以上)

### 育児・介護への支援の充実

- ▶ 経済的な理由から共働きとなる場合が多いと思う。柏崎は子供の支援が刈羽村と比べると違う所が多くあり、金銭的な援助についても差がある。同じとまではいかないと思うが、もう少し考えて欲しい。(男性40代)
- ▶ 育児の支援を充実させる。子供を育てながら働きやすい社会にならなければ女性は働けない。(女性20代)
- ▶ 女性も働けるよう保育園の充実を望みます。保育士が足りないとの事ですが、正職員を増やすことはできないのでしょうか?(公立の正職員だったら応募もあるのでは?)民間保育士はなかなか手もおらず、安易に民営化して保育士不足の責任を民間に押し付ける事のないようにしていただきたいです。未満児持ちで入園できず、職場復帰できないお母さんたちを何人も知っているので書かせていただきました。(女性20代)
- ▶ 休日や夜間も安心して子供を預けられる施設や環境があると、女性も参加しやすくなると思います。(女性30代)
- ▶ 病気のある子供を持った場合でも、女性だけでなく男性も育児に協力できるような経済的、社会的支援があるとうれしい(看病や入院のためどちらか一方がつきっきりの状態になるしかないのだ)。(女性30代)
- ▶ 実家が近くないし、里帰り出産ができない人のためにも男性(夫)の育児休暇は必要だと思っています。今まで育休を取った人がいないからとれないのは大きいと思うので、希望した人には必ずとれるような制度にしてほしい。女性も出産金を会社からもらう前に契約解除になってお金をもらえなかったの、仕事をしている・してない関係なく出産手当、育休手当をもらいたい!!!!(女性30代)
- ▶ 一時保育や病児保育の受け入れを増やしてほしいです。夫は自分が休みを取れば病院や用事に行けますが、私はすぐに1人で出掛ける事ができません。予約を取るのに1か月以上かかる一時保育は急用・急病の時に全くあてにならず、自分の健康や用事は全て後回しになってとても辛いです。育児の為に長く休むのはどうしても女性が多いと思いますが、男女共に自分の体や必要な用事、リフレッシュのための時間が取りやすくなると良いと思います。よろしくお願ひします。(女性30代)

### 職場環境の整備

- ▶ 現在、子供がいない立場でフルタイムで共働きをしています。なんとかなるとは思っていたものの、社会の風潮で男性は残業をしがちで、毎日の食事作りも結局全てを私がしています。仕事でのストレスと1人ですることへの負担で、よく爆発します。残業代がないと、旦那の給料は激減してしまうので仕方ないかもしれないが、柏崎市内の企業さんには、残業代がなくても生活できるような賃金にベースアップをしてもらえるようになってほしいと思うばかりです。(女性20代)
- ▶ サービス充実の前にそこで働く人の給料を上げるなど待遇を改善し、働きやすく、長く働ける環境をつくるべき。順番が納得いかない(保育について特に)。(女性20代)

- ▶ 保育関係の仕事をしているのですが、今日では、お父さんが毎朝お子さんを送りにくるケースも増え、男性の育児参加や女性の社会進出を肌を感じています。子供がまだ小さいうちから働ける環境が整いつつあると思うのですが、まだまだ小さいうちは子供も体調を崩しやすく、迎えにきてもらう機会も多く、その度に仕事を休んだり早退するとなると大変だろうな、嫌がる職場も多いだろうなと感じます。（女性20代）
- ▶ 女性の仕事と家庭生活に余裕を持てるように企業に働きかけをして欲しい。TVだと都会しか改善してなくて、田舎は遅すぎるため。（女性40代）
- ▶ 男性看護師ですが、周囲に女性が多く、あまり男女不平等を感じることはありません。職場環境で違う意見もありますが、個人の能力もあり一概にはいえませんが、もっと「働き方」を見直していただければ、家庭や個人の生活の充実にはなりません。生きていく上で働くことは、避けられません。このままの労働体制や賃金では若い世代では、貯金もあまり出来ず、結婚離れなどのリスクにつながりかねないと考えています。より良い社会づくりを期待しています。（男性20代）
- ▶ 女性をもっと多く働きやすいよう支援する。（女性60代）
- ▶ 障害者が安心して働く場所をもっと増やしてください。（女性20代）

### 雇用分野の男女の均等な機会の確保と待遇の確保

- ▶ 男女とも非正規雇用を減らし、正規雇用者を増やすことによって、働く人の生活を安定させることが、社会全体の安定につながると思う。また、男女分け隔てなく採用していくことが、女性の働くこと、社会参加への自信へもつながり、社会全体の活性化を生むと考える。（女性60代）
- ▶ 男女の差別がないのはもちろん、働いているいないの差もなくなると良いと思います。働く気はあっても、働けない人はいます。専業主婦でも出来る=役立てる、短期の仕事 気軽に出来るボランティアなどがあればと思います。（女性40代）
- ▶ ハローワークで仕事を探していると男性だと分かれると、応募の段階で採用を渋る、不採用をにおわせる企業が多々あります。男女の垣根のない求人徹底させるか、最初から女性のみまたは男性のみなど明確にすべきだと思います(法律上後者は困難でも形だけ守っているのは良くないと思います。)。 （男性30代）

### 再就職しやすい社会づくり

- ▶ 男性の育休が話題になっていますが、現在、夫の収入だけで生活しているため、男性の育休取得中に収入が減ると生活できなくなってしまうので、義務化には反対です。私が仕事をやめたのは、不妊治療と仕事との両立ができなかったためです。今は子供を1人授かり、出産することができましたが、できればもう1人産んでから仕事をまた始めたいと思っていますが、小さい子どもが2人いる状況で、仕事が見つかるのか心配です。もっと再就職しやすい社会になればと願っています。ちなみに少し話がずれてしまうのですが、柏崎市は他の市ではない不妊治療への補助金がいただけるので、とても助かります。（女性30代）

### 男女共同参画の啓発が必要

- ▶ 市は情報の発信をするべきだと思います。（男性50代）
- ▶ 「人権教育」等を学習してきた若年層は、職場でも日常生活でも理解を得やすいように思う。高齢の方々・人権意識の低い方々は、日常会話のなかでも残念な?発言を耳にすることがある。該当の内容について、学習する場、内容を広めていくパンフレットの活用等あるとよいのではないか。（女性60代）
- ▶ 世代的に、生きてきた時代によって、慣習も違うし、捉え方も違うので、マスコミ、行政、教育機関、さまざまな分野で相互を尊重し、分け合い、分担するという精神を教え、伝えていく。（女性60代）
- ▶ 小、中、高校からの教育、大人は講座(父親講座など)で意識改革、広報などで時々PRする。（女性60代）



- ▶ 問29の質問で、こんなに多くの相談窓口があることを初めて知りました。もっと多くの人に知ってもらうための活動をしていくとよいかと思えます。自分も、もっと早く知っていればと思いました。柏崎市では、離婚に関する相談窓口が少なすぎると思いました。長岡、上越まで行くには、1日休みを取って出向くことになり、収入が低い、休んだら仕事なくなるといった不安を抱えて行動している人がたくさんいることを知ってほしいです。（女性40代）

### 市の施策について

- ▶ 市長・議員の方々には、深い考えを持って活発に討論をしてほしい。また、市政に一貫性が乏しいと思う（目先の政治で将来性が乏しい。）。このままのやり方(市政)では、近県から見放されかねない。（男性60代）
- ▶ 結局のところお金が必要なので何かしらの助成金などを受けられるサービスを市や国が増やしていくべきである。（男性30代）
- ▶ 笑顔の柏崎、ふれあいの柏崎。若い人を中心に、柏崎マップを制作したらどうでしょう。（女性60代）
- ▶ 市民に優しい政治。コミセンを破壊しようとする今の市長の方針は、このアンケートに逆行していませんか？（男性50代）

### アンケート調査に対する意見

- ▶ アンケートは今現在働いている人たちに行った方が良いのではないのでしょうか。高齢者では現実的ではありません。（女性70代以上）
- ▶ 問13の質問がとても気にかかりました。私は一生働ける仕事を選び努力をし就きました。そのように考える人は性別関係なくたくさんいると思います。では、なぜ女性だけがこのような質問の対象になるのでしょうか。まだまだ男女共同の途上なのですね。生まれ育った柏崎が、男女とも住みよい市になるよう願っています。（女性30代）
- ▶ アンケートにあたって、現在の柏崎市職員の状況がどうなっていて、なぜそうなっているか説明すべきでは？質問の設定が「男性が女性とともに…」とあるのは、市の現状として、男性と女性を平等に扱っていないことなのよりのあらわれでないか。アンケート結果がいつ、どのように発表されるのか大変興味がある。（男性50代）
- ▶ 色々考えて下さりありがとうございます。男女に差があることを改めて理解しました。問24、28は今まで表現したことがありませんでした。良い機会を頂きありがとうございます。（女性60代）
- ▶ 問11と問13を、なぜ今さら質問してくるのか不思議。そもそもこのアンケートは何のためか？ずいぶん時間がかかりました。(30分以上)2000人の人の、この時間がムダにならないことを願います。（女性40代）
- ▶ 年代的にネットだと更に回答しやすいです(集計もしやすいのでは)。（女性30代）
- ▶ 私の年齢にはあまり関係のない様であまり解答しにくかったです。（女性60代）

### その他

- ▶ 女性のリーダー的な方に講演をしていただきたいです。（女性60代）
- ▶ 最近近所の方でなく通りすがりの方ですが「こんにちは、おはようございます」とか全然言いません。学校や仕事に忙しいでしょうが、心の豊かさがなくなっていると思う。（女性60代）